

発達からの絵本選び

埼玉県にある、うらわライトハウス保育園様にお伺いいたしました。園長の関口先生は職員が発達を学びやすいよう、「発達からの絵本選び」をされていました。



ヒントコメントを使った言葉の定義。
5領域毎のグループノート。

指針の項目に沿った絵本選びによって園内には絵本が豊富になり、先生方のお気に入りの一冊もそこから生まれているそうです。「定義付けを行い、絵本を選び、読み聞かせる」中で、先生同士の思いを受け止め発信する、関口先生の発達の学びやすい環境作りのよう、私たちも自らが学んでいくことを選択しました。それに、子ども同士の関わりを保障し、保護者は保育士の姿から見守る事を学べる環境作りを「子育て支援」としました。また、0歳児には妊娠中のお母さんが入り、出産後に体験する子育てを学ぶ機会とされました。その自然さに保護者でも大変な中でも「子ども主体の保育」を目指し前向きに歩んでいく姿から、感動と勇気を頂き、そのように励まし合い、刺激し合い、切磋琢磨できる関係に幸せを感じました。

長崎県平戸市にある、みどり保育園様にお伺いさせて頂きました。園内は、子どもが自ら発達する事を邪魔しないようにと発達に合ったゾーンや、少し先の発達の子どもたちを見て真似ることが出来る導線づくり、自ら遊びを選択することが出来る環境設定など、一つが細やかな工夫と意図性に溢れています。

この実践を通じ、「他の先生の前で絵本の読み聞かせを行い、一冊の絵本を選ぶことも保育の肥やしにしてほしい。発達を意識してほ

一昨年、ギビングツリー代表の藤森先生と行く「ドイツ保育環境視察研修」に参加し、先月その仲間との同窓会がありました。

同窓会は毎年行われてます。再会は毎回、嬉しく懐かしく、ありがたい気持ちになります。だからといって、ただ久々の再会を喜ぶだけにとどまらず、近況報告を交えながら「ドイツ研修後どのような実践をし、発展させているか」を共有したり、研修参加園による公開保育や、藤森先生の講演も一緒に実施され、大変学びの深い時間となっています。

公開保育も「自分達がちゃんと見てから皆に見せる」というより、「皆に見せる」とで、見学者だけでなく、公園側も改めて保育を見直す機会とし、一緒に高め合っていく」という考え方があります。実際に、皆各自で大変な中でも「子ども主体の保育」を目指し前向きに歩んでいく姿から、感動と勇気を頂き、そのように励まし合い、刺激し合い、切磋琢磨できる関係に幸せを感じました。

私たち自身も「子ども主体の保育」の実現に向けて、日々「見守る」の実践を追求し、「自分ができてから…」と実践を自分でものとせず、共に高め合う楽しみを味わえたらと思います。



ドイツ料理店で同窓会を行いました！

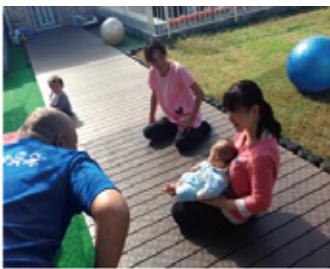
竹取新聞

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第52版

子育て支援の取り組み



共に育ち合う環境がそこにありました。

理念と実践で
糸を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願ひいたします。

学び合い高め合う

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース



園様と一緒にブクブク…

昨年種まきし、自然農で育つた小麦の石臼挽きを行いました。

石臼は、クルーの親戚の方から特別にお借りしました。

石臼を1回まわすのも一苦労なのですが、そこから採れる粉の量も大変僅かです。沢山の人の時間と手間が加わり出来上がった粉は、感慨深いものがありました。小麦粉は、クッキーにして皆で1枚ずつ頂きました。

一枚の重みを感じながら…丸ごとお命を頂いていることを改めて感じ機会となりました。

先月の竹取新聞で、米飴についてご紹介させて頂きましたが、社内の甘味料はすっかり米飴になりました。園様にお持ちする玄米クッキーも、米飴で作らせて頂いています。また先日は、ある園様から米飴を使つてクッキーを作り、子どもたちと一緒に召し上がってくださいました。大変有難く嬉しさつたという、大変有難く嬉しく嬉しいです。

いお声を頂きました。

振り返つてみると、社内に米飴が登場したきっかけは、あるクルーが金沢へ旅行した際にお土産に買つてきてくれたことでした。今やすつかり園様と一緒にブクブク…と発酵になつて広がっています。

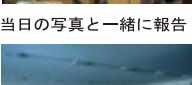
一人のアンテナが大きなアンテナとなつて、思いもよらない展開になりました。こんな風に一緒にブクブク…と発酵させて頂けることを有難く感じています。これからもそんな発信をさせなければと思っています。

素材から本物に

以前、竹取新聞に掲載した「子どもの味に合わせた食育」をテーマに実践している保育園に伺つたので報告いたします。

まず大変興味深かつたのは、調理法ではなくそのものの素材を本物にこだわっているところでした。「素材を本物にしていくことがまず大切」だとし、これらの「素材」にだるる実践には新たな発見と気づきをいたしました。それは食べてみると二食瞭然でした。これを続けるかも自明します。

一期一会庵



当日の写真と一緒に報告
皆スクリーンに釘付けです。

カグヤでは、クルーの子どもたちが6歳になるまで、子どもの誕生日に休みを取る「はしらのきず制度」があります。

先月の全体会議では、制度を利用したクルーの報告がありました。

九州農園から人参、枝豆、サツマイモ等が届きました。

野菜をどう保存しようか…と考えて調べてみると、それぞれ保存方法がありました。保存の基本は、その野菜が育てられている時と同じ状態にすることなのだそうです。例えばサツマイモは、真っ暗な土の中で育つので、光の当たらない涼しい場所での保存が適しているようです。

何でも「野菜」等と一括りにしてしまいそうですが、元々のそれぞれの姿を忘れないようにしたいと感じています。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます

編集後記

今月も竹取新聞をご覧頂きまして、誠にありがとうございました。

皆様から頂いた沢山のご縁を、新たな実践としてお返しできるよう取り組んでもらいでいます。

益々寒さ厳しくなりますので、お身体に気を付けてお過ごしください。

CAGUYA
株式会社 カグヤ

本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)